岐阜県指定 児童発達支援事業所（指定番号 2150500425）

児童発達支援 ベストチョイス各務原

運営：株式会社イビリテ ｜ 対象：2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 定員：1日10名

5領域：言語・コミュニケーション　5領域：人間関係・社会性

課題 01｜ことば・コミュニケーション

「ことばがゆっくり・目が合いにくい・思いが伝わらない」

無理に復唱させるのではなく、「一緒に見て楽しい！（共同注意）」の積み重ねから自発語を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 2～3歳を過ぎても単語がなかなか増えない・指さしが少ない
- 名前を呼んでも振り向かない・視線が合いにくいことがある
- 言いたいことが伝わらず、手が出たり泣いて訴えたりする

発達科学からの安心メッセージ

「言わせる練習」をしなくても大丈夫です

最新の幼児発達科学（JASPER／NDBI研究）では、「言ってごらん」と復唱させるより、子どもが夢中な遊びの中で大人と目線や楽しさを共有する（共同注意）方が、1年後の発語量が大きく伸びることが実証されています。

来所時のお子さまの様子に合わせた「2つのスタート分岐」 ＆ 解決4ステップ・フロー図

一人ひとりのペースで進めます

A：好きな玩具（電車・ブロック等）へすぐ向かえる時

指導員が隣で同じ遊びをまねっこし、お子さまが視線を向けた瞬間に「ガタンゴトン！」「あ、つながった！」と短い言葉を添えて共感します。

B：場所見知りや緊張で、まだ遊びに入れない時

無理に声をかけず、安心できるコーナーやボールプールで身体の緊張をほぐし、指さしや笑顔での「非言語の共感」から始めます。

どちらのタイプのお子さまも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします

STEP 1｜つまずきの背景



「言葉テスト」の緊張

大人から質問攻めにされると、言葉のハードルが上がり発声が止まりやすくなります。

STEP 2｜安心の土台づくり



同じ物を見て指さし共感

お子さまが見ているミニカーや図鑑を一緒に指さし、「大きいね！」と笑顔を共有します。

STEP 3｜遊びの中の療育



5秒待って気持ちを代弁

先回りせず「5秒」待ち、指さしや声が出たら「〇〇貸してだね」と短い言葉を添えます。

STEP 4｜育つ力・将来の姿



伝わる喜びから二語文へ

「人と関わると楽しい！」という実感が根づき、指さしから単語・二語文へと広がります。



実践① プラレール・ブロック・図鑑での共同注意

お子さまの「大好き！」を起点に言葉を添えるNDBIアプローチ

お子さまが自分で選んだ電車や恐竜パズルを使い、「あか・あおどっちにする？」と2択で選ぶやり取りや、車両をつなげる時の「せーの、ガチャン！」というリズム語彙を楽しく反復します。



実践② ごっこ遊び・見立て遊び（象徴遊び）

お人形やお店屋さんごっこで「どうぞ・ありがとう」を楽しく体験

家庭的な療育室でごっこ遊び（積み木を食べ物に見立てる等）を行い、言葉の土台となる「イメージする力（象徴機能）」と「やり取りの順番（ターンテイキング）」を育てます。

★ おうち・園で今日からできる「1分関わりヒント」

「〇〇って言ってごらん」を1日お休みして、お子さまが見ている物を一緒に指さし、「わあ、ワンワンいたね！」と共感の笑顔を返す『心のキャッチボール』を1日3回試してみてください（UCLAカサリ教授・ランセットPACT試験準拠）。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【午前からの1日ゆったりコース】10:00～16:00（昼食・昼寝対応）

②【保育園・幼稚園への送迎並行コース】園への送迎対応（送迎時間 9:30～16:30／片道30分程度）。相談支援専門員様とも密に連携します。

ご見学・ご相談（月～金 10:00～16:00）
058-372-6123
まだ受給者証が手元になくてもご相談可

所在地 〒504-0966 岐阜県各務原市那加本町36番地 マナベビル3F（JR那加駅 徒歩2分・名鉄新那加駅 徒歩5分）
対象 2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 送迎・昼食 提供可能 ｜ 対応言語 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語
メール contact@ibirite.info ｜ Web https://www.ibirite.info/児童発達支援/

LINEでお問合せ